



# 委員会レポート

(審議内容の一部を掲載しました。)

## 御代田小沼水道は健全財政

## 新電力切替えで電気料15%削減

### 町民建設経済

### 総務福祉文教

#### 平成28年度補正予算

#### 新電力業務委託料について

1 新電力により440万円の電気料の削減ができ委託料170万を差し引いても270万円の効果が出るこの事であるが、7施設の今の電気料と削減率ほどの程度か

A 7施設の電気料は、役場庁舎380万円、エコーみよた850万円、南小学校255万円、北小学校252万円、中学校460万円、共同調理場716万円、井戸沢処分場90万9千円であり、全体で3千13万1千円となっている。新電力に切り替えると、2千52万5千円となる。個々の削減率はまだ出ていない。

#### 2 委託化によるメリットは

A エネルギーマービスプロバイダーに委託すると毎年、電気事業者と電気料の交渉をする。今後新庁舎を含め、新電力に伴うプランニングの提供もする。他に月々の電力料の削減効果等のデータの提供がある。

#### 3 導入時期と今年度の削減効果は

また、委託先は

A 議会議決後、7月1日からの切り替えを考えている。削減効果については、今後試算していく。

新電力供給会社は、東京ガスと大阪ガスの出資会社のエネットである。プロバイダーは、エネリンクである。

#### 条例改正

保育料徴収条例の改正で、「一世帯」から「生計を一にする」との文言の変更があるが、どのような違いか、また対象者はどのくらいか

A 今までは「一世帯」という基準で法律が決まっていたが、同時入園でないとして第二子以降は減免できなかったが、法改正により一人親世帯や低所得者の方は、同時入園規定が廃止され20歳を過ぎても生計を一にしていれば良くなり、住民票を移して大学に通っていても親の保護を受けていれば第一子としてカウントされるようになった。新たな減免対象は53世帯である。

#### 平成28年度補正予算

町道の名前が上小田井雪窓線とか塩野御代田停車場線など分かりづらいが、分かり易い名前にならないか

A 正式には町道○○線という名前になるが、かりん道路やふるさと農道・シチズン通りなどと通称名を付けてその道路をアピールしていくことは可能である。

管理は正式名称で行なうが、通称名で道路標示をするのは可能である。

#### 委員会レポート

学校給食共同調理場費で、民間委託を視野に、あり方検討委員会を開催していくとの説明であったが、この委員会の活動目標は

A 町の事業量が増えている中で、現在の安心、安全な給食水準を維持することを大前提に、民間活力の効果的な導入や効率化を図れるか、研究、検討を進めていくもので、これから検討委員会を立ち上げていく。

教職員結核・胃健康診断委託料が増額ということでは当初は39万9千円が、14万6千円増額になり、委託先が変わったとのことであるが、どこからどこに変わったのか

A 当初は御代田中央記念病院に委託ということでは、入札にはならなかったが、契約書を交わす直前に辞退の申し出があり、そこからもう一度入札し、上田にある中央臨床検査所と契約した。

教職員の健康診断で、記念病院から辞退されたということでは、今後町内にあるのに御代田町の教職員の健康診断はやはりということか

A 4月の段階で辞退するという連絡があり、その後の情報は分からない。町内の病院ということでもあるので、今後の動向を見ながら考えていく。

上小田井雪窓線(平和台区)と上ノ林児玉線(井戸沢最終処分場前)の施行予定は

A 平和台の道路拡幅の用地買収は完了した。道路延長は約300mで、南側から半部程を7月に着工し11月末完成予定で進める。上ノ林児玉線は、用地取得と建物などの補償契約をして工事は来年以降になる。

御代田小沼水道は、これから既設管の布設替えなど経費がかかると思うが、見通しは

A 今のところ監査委員から健全財政であると言われ、毎年2千万円ほど基金積み立ても行っており、基金残高は7億8千万円ほどになっている。ただ、監査委員からもしものことがあり、全ての埋設管の布設替えをした場合いくらかかるかの質問があり、仮に1m当たり約5万円掛かったとして、約100km埋設管があるので50億円ほどになると答えた。また、配水地の更新なども考えれば、まだ基金は不足している。



修繕必要な配水池

公共交通二ス調査委託料が、145万8千円減額ということであるが、この事業は、平成27年度の地方創生加速化交付金で350万円計上されて、繰越明許費として、平成28年度の事業となった。全く同じ事業で、145万8千円が350万円となる予算を組んだ経緯はどうなっているのか

A 当初予算作成時には、2分の1の補助を受けて、145万円程で事業を実施したいということでは、新型交付金の状況がどうなるのか分からない中で、145万8千円の予算計上をした。

加速化交付金の350万円とは別で考えて申請を上げたが、こちらが採択となったので、今回減額とした。



委員会審査終了後、佐久広域連合消防本部の視察研修を行った。

空き家実態調査で、危険家屋と判定された建物の対応は

A Cランクの「ただちに倒壊の恐れはないが損傷が激しい」という箇所は16棟把握した。今後そついったものに対応する条例の制定や危険な空家の指定などについて、空家等対策推進委員会に諮り進めていきたい。

委員会審査終了後、佐久市安原にあるスマイルファーム(水耕栽培)の視察研修を行なった。特徴は下記の点だと感じた。

1、二重張りビニールハウスの空気層により断熱効果が上がって暖房費を削減できる  
2、太陽光を拡散するシステムなので多段式でも高収穫が可能である  
農場主は、このシステムを研究開発している会社から、農業をしたいの思いつから独立営農を始めた若者で将来性を感じた。



※興味のある方は産業経済課まで連絡してください。

#### 委員会レポート